

- ・常に人命の尊重と人間愛に基づいた医療・介護につとめます。
- ・全ての人に平等に心身両面にわたる医療・介護につとめます。
- ・地域の人達から信頼されるよう研鑽と協調をすすめます。

病院の取り組み ~ 経口摂取機能の維持と改善 ~

当院は、平成14年より、次のことを目標として取り組んでいます。

- ・出来る限り、患者さんの経口摂取能力を維持する。
- ・胃瘻は作らない。



< 口腔ケア >

- 口から食べる能力の維持と向上及び、口腔疾病や誤嚥性肺炎を予防するため、言語聴覚士や歯科衛生士の指導のもと、患者さん一人一人に適した口腔ケアに取り組んでいます。
- 口から食べられない患者さんには、口腔乾燥の予防や口腔粘膜の保湿、清潔を保つために口腔清拭を行っています。これも大切な誤嚥性肺炎の予防になります。
- 食べることや、飲み込みの機能を回復するために、歯科治療が必要な場合は歯科医に往診を依頼しています。

- 例
- ・入れ歯の不適合を調整する。
 - ・新しい入れ歯を作る。
 - ・残っている歯が口腔内トラブルの原因になる時は処置する。
 - ・歯周病や口腔粘膜の損傷を治療する。

緑茶を使った口腔ケア

最近、緑茶での口腔ケアを行っている病院が多くみられます。当院でも、適度な殺菌力を持ち刺激が少なく、一般的に受け入れやすい味であることから緑茶で口腔清拭を行っています。



緑茶は、普通に入れたものを用います。緑茶で湿らせたガーゼなどで1日3回、咽頭部を刺激しないように、粘膜も傷つけないように柔らかく拭き取ります。

乾燥の強い時や、汚れのひどい時はゼリータイプの保湿剤や、スポンジブラシなどを使用したりしています。

< 嚥下カンファレンス >

- 医師・言語聴覚士・看護職員・介護職員・歯科衛生士・管理栄養士・ケアマネージャーなどが参加します。
- 言語聴覚士から、個々の患者さんに適した経口摂取方法などの説明がされ、関連する全職種が内容を理解した上で、患者さんの摂食介助を開始します。
- カンファレンスは患者さんの状態に合わせて適宜行います。



< 嚥下(飲み込み)機能検査 >

- 医師が嚥下障害やその危険性があると判断した場合、言語聴覚士が症状の進行防止及び訓練による回復が可能であるか検討します。
- 言語聴覚士が、医師・看護職員・介護職員とともにレントゲン透視下でのVF検査(嚥下機能検査)を実施します。
- 検査から、誤嚥を起こしにくい食事形態・1回の摂取量・嚥下体位・摂食介助方法などを検討します。

その結果・・・

- ・誤嚥性肺炎の発生頻度が少なくなりました。
- ・経口摂取を維持できる患者さんが多くなりました。
- ・胃瘻から経口摂取が可能となり胃瘻チューブを抜去できた患者さんが10名おられます。(H18.9)



日本療養病床協会全国発表会などで発表した「胃瘻から経口摂取能力回復に関する発表内容」が当院ホームページに載っています。

防災訓練 平成19年は、防災訓練を2回実施しました。

6月には、日勤帯を想定した避難誘導と消火器の操作訓練を行い、12月には、夜勤帯を想定した避難誘導を行いました。

消防署の方から指摘された注意点や、職員同士で気づいた反省点を改善し、火災予防及び防災対応の向上に努めています。

防災マニュアルを職員一人一人に周知徹底し、繰り返し訓練を実施することで、万が一の災害時に備えています。



～平成19年9月から12月の催し物です～

第4回ふくの若葉病院ミニコンサート

10月16日(火)1階エントランスホールにてミニコンサートを開催しました。

今回は、黒瀬美さんと城香菜子さんの、ヴァイオリンデュオによるすばらしい演奏会でした。

プログラムはゴセックの「ガボット」、シューマンの「トロイメライ」などのクラシック曲だけでなく、日本人にとって懐かしい「夕焼小焼」や「七つの子」など、誰もが一度は耳にしたことのある曲も交えた親しみやすい内容でした。

演奏家プロフィール(一部紹介)

黒瀬美 (Haru Kurose) さん

- ・同志社女子大学文学部音楽学科卒業
- ・同大学音楽学会<<頌啓会>>特別専修生修了
- ・ヴァイオリンを三塚伊都子、林靖子の各氏に師事
- ・大阪ザ・カレッジオペラハウス管弦楽団を経て、2003年4月山形交響楽団入団

城香菜子 (Kanakō Joh) さん

- ・大分県立芸術文化短期大学卒業
- ・愛知県立芸術大学音楽学部卒業
- ・ヴァイオリンを山岡耕作、故・松村英夫、福本泰之、ウラディミール・マリニン、齋藤真知亜の各氏に師事
- ・2004年4月山形交響楽団入団



オープンホスピタルと介護者教室

11月12日(日)1階エントランスホールと通所リハビリテーション室で『オープンホスピタルと介護者教室』を開催しました。

『褥瘡(床ずれ)予防』と題し、当院で自主制作した、「姿勢と体位の整え方」と「体交枕の効果的使用」の褥瘡予防対策ビデオの上映、その後、ビデオの内容について実際に体験していただきました。

また、少ない量でも高い栄養価のある高カロリー流動食品の説明や試食コーナー、超音波骨密度測定器などによる健康チェック、コーヒーや抹茶などが楽しめる喫茶コーナー、大正琴の演奏会、遊休バザーがありました。

院内見学ツアーと題し、日頃、入院患者さんや通所リハビリテーションの利用者さんが使われている、病室、風呂場、トイレなど平日の見学ではお見せすることのできない場所も見学していただきました。



介護の道へ！実習生の奮闘！

当院では、介護職を目指しておられる介護実習生を受け入れています。学校や教育センターで習得した介護福祉の知識や技術を応用し、患者さんの援助ができるよう実習プログラムを作成し、思いやりや優しさといった心の大切さを共に学んでいただけるように努めました。

平成19年は、井波高校福祉科2年の生徒さんや、ヘルパー1級及び2級の取得を目指しておられる生徒さんが、介護実習に取り組みられました。生徒さんたちからは、授業で習ったことを患者さんに対し実践する難しさや、介護に携わる強い気持ちが伝わってきました。



当院の職員からは、「実習を通して、指導力の向上や、介護の基本技術や知識の再確認ができ、実習生の皆さんと共に学ばせていただけることに感謝しています。」などの感想が寄せられました。

介護職を目指している皆さん、介護の仕事に興味がある皆さん、当院で学んでみませんか。

職員の取り組み！～研修会や発表会への参加～(一部紹介)

第15回療養病床協会全国研究会

9月5日(水)、6日(木)兵庫県神戸市のホテルオークラ神戸において、第15回療養病床協会全国研究会(神戸大会)が開催されました。当院は、「胃瘻から経口摂取能力回復へ～成功・不成功の比較～」、「終末期ケアへの取り組み～膀胱留置カテーテルから自然排尿へ～」と題し、2題の事例を発表しました。発表者一同、参加者の皆さんに、当院の取り組みについて、少しでも理解していただけるよう本番に挑みました。



若葉グループの事例発表会や研修会

若葉グループは富山県南砺市にある当院と石川県七尾市と津幡町にある施設をあわせ、計8施設から組織されています。

10月は『第2回若葉グループ看護介護部事例発表会』を開催し、各施設での取り組みや問題点などについて活発な討論が行われました。

11月は『高齢者の経管栄養と問題』と題し、講師の方を招き、高齢者の栄養管理講習会が開催され、日頃の業務や知識の向上につながるよう聴講しました。

12月は『職場の人材育成について』と題し、講師の方を招き、若葉グループ看護介護部研修会が1泊2日で開催され、看護職及び介護職の役職者が出席し、講義やグループ討議などを通して研鑽に努めました。



幸トーンの会 ピアノ演奏

12月27日(木)、定期的にピアノ演奏会を開いてくださっている、大江先生のピアノ教室の生徒さんたちによる『幸トーンの会』が開催されました。

「よるこびの歌」「ミッキーマウスマーチ」「ドレミの歌」など練習してきた曲を上手に演奏してくださいました。また、生徒さん2名による連弾で「ドラえもん」や“天空の城ラピュタ”の主題歌「君をのせて」など、息の合った演奏をしてくださいました。



編集後記 今回の特集は「摂食嚥下」についてでした。食べるということは、人間の最も原始的な本能の一つだそうです。当院では、毎日楽しく食事を召し上がって頂けるよう、続けて取り組んでいきます。

さて、昨年も多くボランティアの方々に来ていただきました。どうもありがとうございました。今年もよろしくお願いたします。

日本医療機能評価機構認定療養病院

医療法人社団 良俊会 [診療時間] 午前9時～12時
午後1時～4時

ふくの若葉病院 [休診日] 土・日・祝日

南砺市苗島367番地 TEL 23-1011 FAX 23-1020

ホームページ <http://www1.tst.ne.jp/wakaba/>
メール wakaba@p1.tst.ne.jp